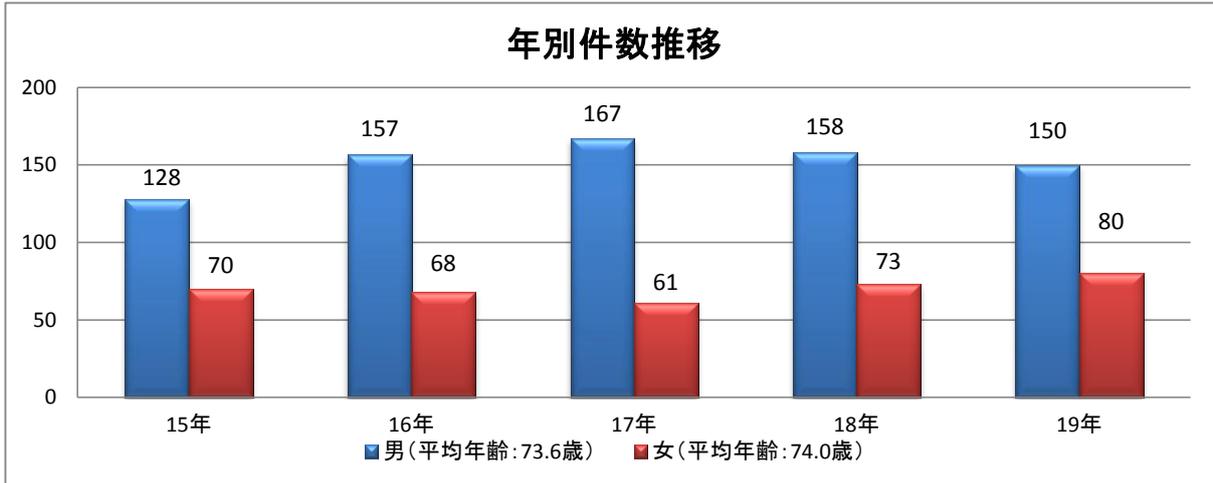
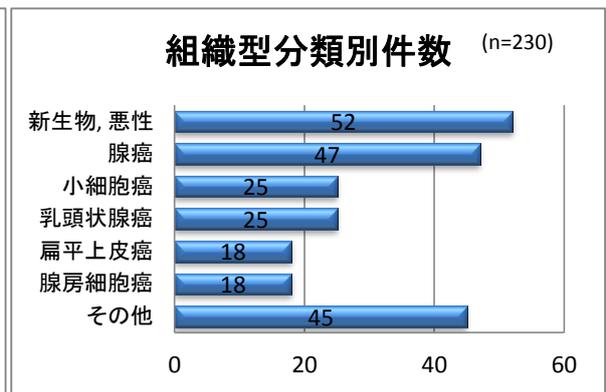
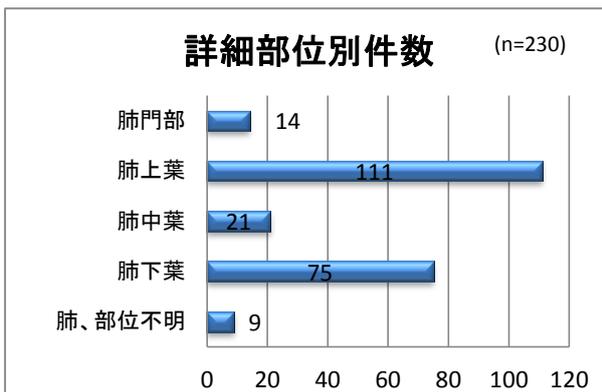


## Ⅱ. 2019年集計＜部位別＞

### 3. 肺

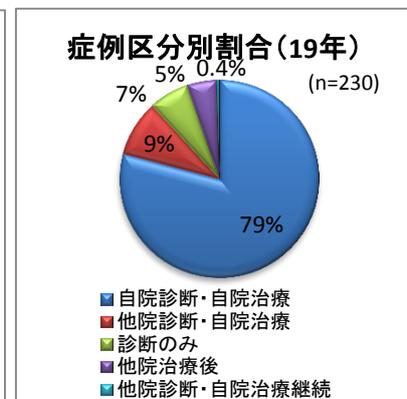
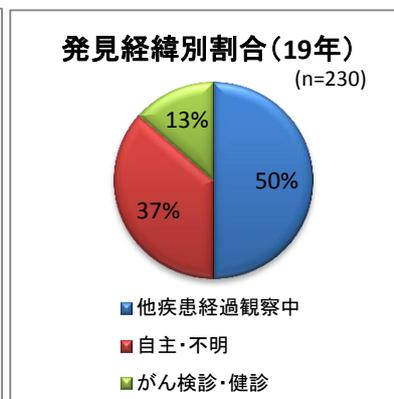
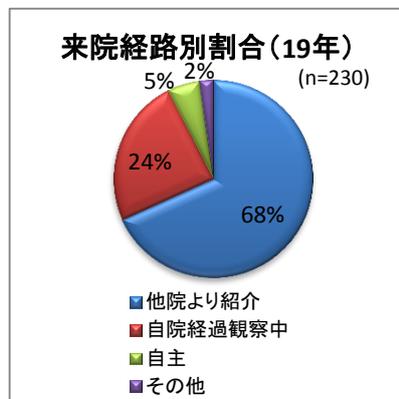


年別件数推移は女性の件数が増加している。



詳細部位別では「肺上葉」「肺下葉」の件数が多い。

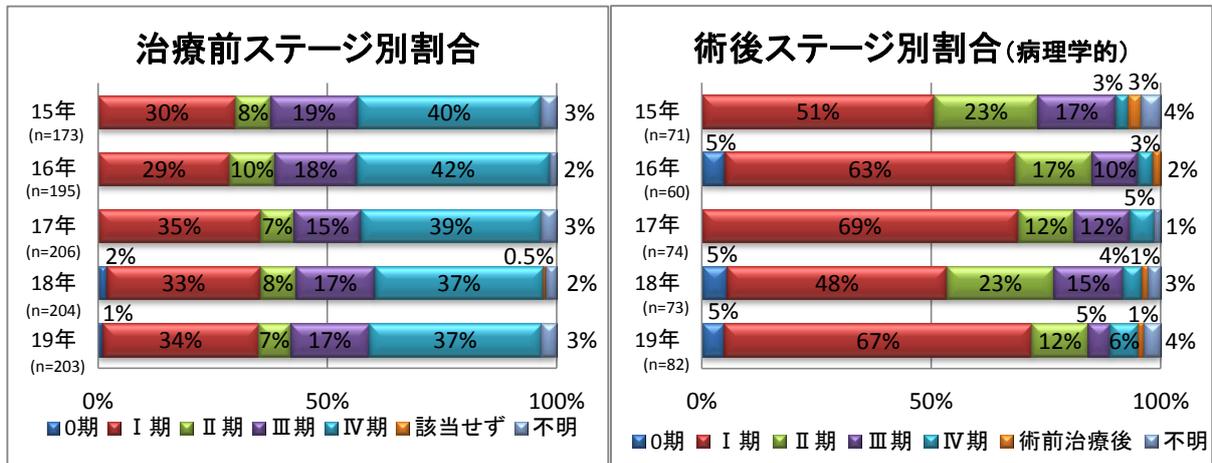
組織型分類別は「新生物, 悪性」が最も多く、次いで「腺癌」の件数が多い。



来院経路別割合は「他院より紹介」の割合が約7割を占めている。

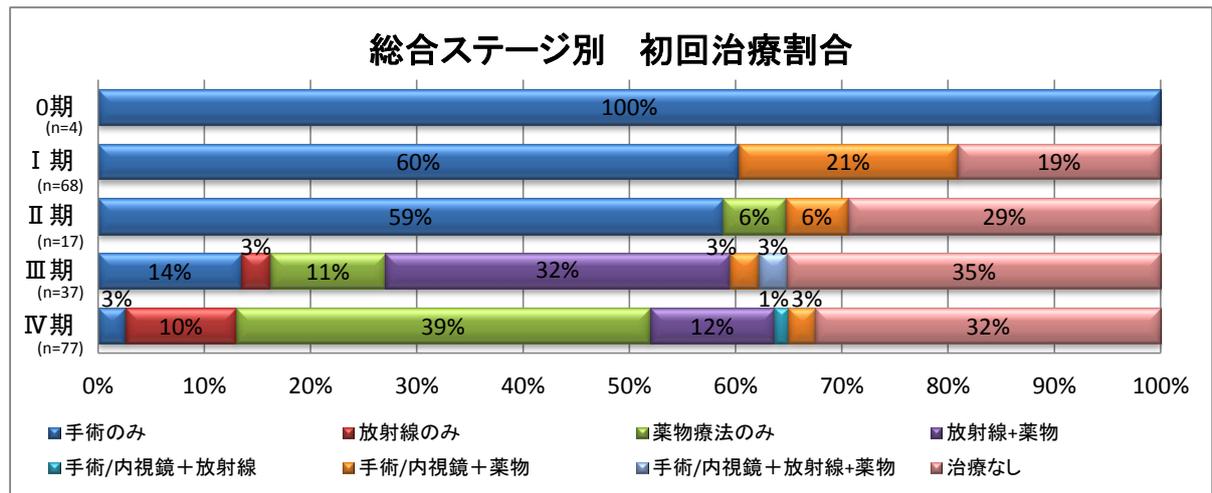
発見経緯別割合は「他疾患経過観察中」が5割を占めている。

症例区分別割合は「自院診断・自院治療」の割合が高く約8割を占めている。



治療前ステージは「I期」「IV期」の割合が多くを占めている。術後ステージは「IV期」の割合が増加しており、また「I期」の割合が約7割を占めている。

※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術する症例が含まれる。



0期～II期では「手術のみ」の治療が多いが、III期以降では「放射線+薬物」「薬物療法のみ」「治療なし」が多くなっている。